

セキュアなAIドリブンSD-BRANCH の構築

AIOpsを活用してシンプルで拡張性とセキュリティに優れたSD-Branchを実現

課題

- これまで、支社/拠点への導入は煩雑でミスが発生しやすく、運用コストが高かった。
- アプリケーション、ユーザー、デバイス、クラウドサービスの数が増えるにつれて、複雑さが増している。
- 企業は、ユーザーエクスペリエンスがどのように収益に影響を与えるか、またその理由についてあまり理解していない。

ソリューション

- すべてをソフトウェアで提供する支社/拠点ネットワークにより、企業の各拠点を網羅。
- マイクロサービスクラウドのMist AIがSLE (サービスレベルエクスペリエンス) を提供し、リアルタイムのユーザーエクスペリエンスに関するインサイトを提供。
- テンプレートを容易に複製でき、複数拠点でのインストールやアップデートを促進。
- ゼロタッチプロビジョニング (ZTP) が請求コードと簡略化された共有カギの使用状況を提供。

メリット

- 運用が簡略化され、大規模で迅速な導入が可能
- AIドリブンのインサイトと自動化により、MTTR (平均修復時間) を短縮
- あらゆるネットワークドメインのアシュアランスにより、ユーザーエクスペリエンスを改善
- トンネルフリーのSD-WANにより、アプリケーションのパフォーマンスが向上
- ZTPで大規模な導入を迅速に実現

ソリューションの概要



分散型の企業や支社/拠点構造の進化に伴い、クラウドのサービスやアプリケーションが台頭し、デバイスの多様化とユーザーの分散化も進んでいます。こうした要因により、支社/拠点ネットワークは複雑さを増しているため、従来のアプライアンスや管理システムでは適切にメンテナンスすることができません。

これからの支社/拠点ネットワークには、ネットワークスタック全体とすべてのドメイン (無線、有線、WAN、クライアントからクラウドまでを網羅するセキュリティ) に拡張性と信頼性をもたらすソフトウェアベースのアーキテクチャが必要です。Mist AI™ドリブンのJuniper® Software-Defined Branch (SD-Branch) は、この機能だけでなく、他の機能も備わっています。

課題

従業員が分散して働く今日の状況において、企業のIT部門は、従業員と顧客の両方に優れたエクスペリエンスを提供しなければなりません。ビジネスを成功させるうえで、その重要性はかつてないほど高まっています。しかもデバイス、アプリケーション、そして業績を上げなくてはならないという凄まじいプレッシャーにさらされている従業員が複雑に絡み合う中で、これを実現する必要があります。

リソースが限られている状況下にいることが多いIT担当者は、これ以上複雑にならない新しいソリューションを求めています。そうした新しいソリューションでは、環境の簡略化、運用の最適化、ユーザーエクスペリエンスの優先が求められます。

支社/拠点のオフィスでは、SaaS (Software as a Service) アプリケーション、IaaS (Infrastructure as a Service) の導入、ユーザー、デバイスが急激に増えています。仕事自体のハイブリッド化が進み、それに伴い職場のスタイルは進化しています。

そうした中でカギになるのがAIと自動化です。コラボレーションツールによるリアルタイムのコミュニケーションも欠かせません。こうした課題に対応し、現在のビジネス目標を達成するため、企業は以下の特徴を備えたネットワークを必要としています。

- **俊敏性:** 急速に変化する環境とライフスタイルに対応
- **信頼性:** 顧客と従業員が企業ブランドとのやりとりにおいて期待するエクスペリエンスを提供
- **先進性:** エクスペリエンスの提供に支障が生じたときに迅速に復旧

その他、支社/拠点の運営に必要なアプリケーションとしては、道案内、アセット追跡、ゲストWi-Fi、POSシステムなどが挙げられます。

ソリューション:Mist AIドリブンのJuniper SD-WAN

Mist AIのほか、ジュニパーのセッションスマートルーティングなどのAIドリブンエンタープライズ機能を搭載したJuniper SD-Branchは、高い拡張性とセキュリティと共に、Mist AIドリブンのJuniper SD-WANのメリットを、支社/拠点ネットワーク(LAN)とクラウド環境で実現するソリューションです。Juniper SD-Branchは企業の無線、有線、WANネットワークを網羅する能力を備えており、業界屈指の屋内位置情報サービスも含まれています。

Mist AIは、分散型企業全体のユーザーとオペレーターのSLE(サービスレベルエクスペリエンス)を目標とし、それを向上させるものです。これらのSLEは、Mist AIと仮想ネットワークアシスタント「Marvis™」のAI(人工知能)、ML(機械学習)、NLP(自然言語処理)機能によって管理され、企業のネットワーク環境全体でAIOpsを実現します。ジュニパーのセッションスマートルーターは、ゼロトラストセキュリティ、適応型暗号化によるトンネルフリーセッション層ルーティングのほか、IDP(侵入検出および防止)やURLフィルタリングなどの内蔵ファイアウォール機能により、最適なエクスペリエンスを確保します。

Juniper SD-Branchは、テンプレートベースの構成経由でネットワーク全体にポリシーを適用するデバイスのスキャンニングと要求の手法により、分散型企業の計画、導入、管理プロセスを大幅に強化し、迅速化します。Juniper SD-BranchにはAIOpsが組み込まれ、無線、有線、WANドメインにおけるエクスペリエンスレベルアシュアランスを備えているため、これらの差別化を実現できます。

特長とメリット

支社/拠点環境では、すべてのドメインのフルスタック全体で、信頼性、安全性が高く、エクスペリエンスに敏感なネットワークによって

サポートされる必要があります。これには、LANにおける信頼性の高い無線アクセス、有線アクセス、バックアップ接続を備えた高性能WAN、ネットワーク管理業務の簡略化も含まれます。信頼性の高い安定したWi-Fiカバレッジは、どの拠点においても必要とされます(図1)。

SD-Branchソリューションは、あらゆるドメインですべてのネットワークユーザー(従業員、ゲスト、顧客、オペレーター)の最適なエクスペリエンスを継続的に測定、サポートする必要があります。

ソリューションのコンポーネント:SD-Branch用AIOps

Juniper SD-Branchは、オペレーターとユーザーのエクスペリエンスを変革します。Juniper SD-Branchは、共通のマイクロサービスクラウドアーキテクチャをベースとして共通のAIエンジンに接続されており、有線、無線、WANネットワークのユーザーエクスペリエンスとサービスレベル保証に関するリアルタイムのインサイトを提供します。SD-Branchには、AIドリブンSD-WAN、スイッチング、Wi-Fi、屋内ロケーション、強化されたセキュリティが含まれており、すべてJuniper Mist Cloudで提供されます。トンネルフリーのジュニパーセッションスマートルーティングとMist AIを組み合わせることで、アプリケーションのパフォーマンス向上、運用の簡略化、セキュアな支社/拠点を実現します。

Juniper SD-Branchは、クラウドベースの管理で有線LAN、無線LAN、WANのネットワークの構成、導入、運用を簡略化し、ITチームがより少ないリソースで多くの作業を行えるようにします。Juniper SD-Branchソリューションは、統合型でクラウドベース、AIドリブンの有線、無線、WAN管理により、運用の複雑さを軽減します。



図1:支社/拠点成功のためのネットワーキング要件

Mist AI

Mist AI CloudがJuniper SD-Branch環境を制御します(図2)。

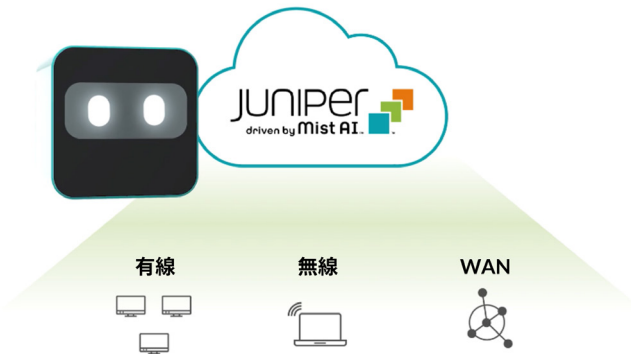


図2:SD-BranchではすべてのネットワークドメインをMist AI Cloudで制御

このソリューションは、ネットワークドメインに起因する問題を解決する際に効果を発揮します。ネットワークをエンドツーエンドで(クライアントからクラウドまで)調査し、一見別のドメインに起因するよう見える問題でも迅速かつ自動的に解決できます。

すべてのドメインで、Juniper SD-Branchは、あらゆるネットワークで発生しうる問題に注目したSLEを提供します(表1)。

表1:ネットワークドメイン別のSLE

無線	有線	WAN
サービス全般 接続するまでの時間 接続の成功 カバレッジ ローミング スループット 容量 正常性	サービス全般 スイッチの正常性 接続の成功 スループット	サービス全般 WANエッジの正常性 WANリンクの正常性 アプリケーションの正常性

これらのSLEには、分析に基づき継続的に更新される分類が含まれ、この分類はネットワーク問題の迅速な切り分けと修復に役立ちます。例えば、成功した接続における無線の問題は、認証またはDHCP(動的ホスト構成プロトコル)の問題に分類されます。同様に、WANリンクの正常性に関する問題は物理的なケーブルの問題またはISPへの到達可能性に関する問題に分類されます。

Juniper SD-Branchの機能の一例として、複数ドメインのイベントによってビデオ会議のユーザーエクスペリエンスが悪化する場合を考えてみましょう(図3)。

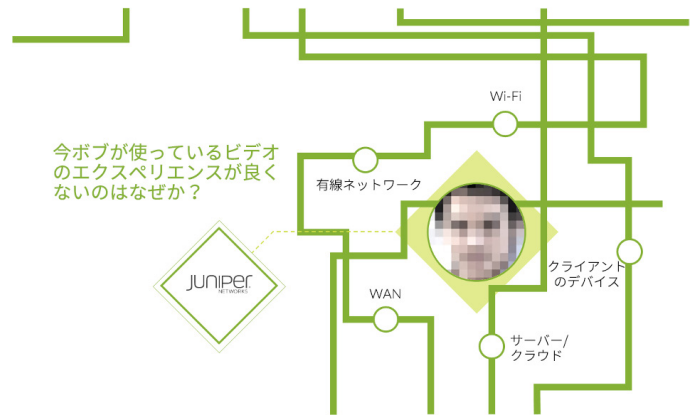


図3:多くのドメインがエクスペリエンスの悪化を引き起こす可能性がある

エンドツーエンドのサービスレベル、イベントの関連付け、異常検知、自動運転の各機能を使用することで、管理者はドメインと支障のあるコンポーネントを簡単に切り分けることができます。問題の原因は、無線アクセスポイントかもしれません。その場合、ユーザーは接続できずに困っているでしょう。

あるいは、もっと上流のルーター上の不良イーサネットケーブルが問題を引き起こしているのかもしれません。クラウドデータセンター内に設置されているビデオアプリケーションサーバーが仮想マシンのパフォーマンスを低下させている可能性もあります。

または、ユーザーのラップトップやインターネット接続、あるいはエンタープライズWANのノードが問題の原因かもしれません。Mist AIは根本的な原因を特定し、修復を推奨または実行するために、ドメイン全体のSLEを関連付けて分類します。

ドメインをまたがる問題を解決する他の例として、以下のものが挙げられます。

- アクセスポイントへの接続成功に問題があり、その原因はWANルーターの設定変更(MTU不一致)による認証失敗であったことが判明
- 一般的にインターネットが遅い原因がクラウドセキュリティサービスの中断だったことが判明
- メッセージングアプリケーションの動作が遅い原因として、アプリケーションサーバーの遅延やWANのLTEシグナルの問題、あるいは有線LANまたは無線LANの問題だったことが判明

Juniper SD-Branchでは、Mist AIが動作の変化をリアルタイムで検証し、その場で調整し、顧客の期待を上回るサービスを実現します。

仮想ネットワークアシスタント「Marvis」

前述のJuniper SD-Branchの分析機能は仮想ネットワークアシスタント「Marvis」と連携しており、AIOpsをベースとするトラブルシューティングを提供します。Mist AIを搭載したMarvisは、ユーザーに悪影響を与える前にネットワークの問題を検知します。このように、時間のかかる手作業のITタスクをAIドリブンで事前対応型の自動化と自動修復機能に置き換えることができ、ネットワーク運用コストと時間の節減につながります。

Marvis Actionsは簡略化を促進し、IT手法を事後対応型のトラブルシューティングから事前対応型の修復に変換します。Marvis Actionsはアクションの自動化機能とアクションを推奨する支援機能により、Self-Driving Networkを実現します(図4)。

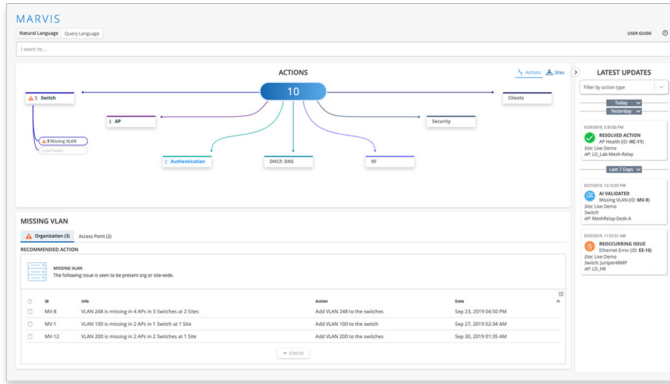


図4: 仮想ネットワークアシスタント「Marvis」によるアクションの推奨

たとえば、オペレーターはアップグレードの追跡、ポートやVLANにおける設定ミスの修復、不良ケーブルの特定、レイヤー2ループの発見、侵害されたデバイスやそれに付随するネットワークリスクの特定などができます。

Juniper SD-Branchには、NLPを使用してユーザーのインテントや目的を理解する**Marvisの対話型インターフェイス**(図5)も含まれています。問い合わせの内容について状況を踏まえて理解し、具体的な結果を返します。Marvisはインテントを理解し、オペレーターが具体的なダッシュボードやCLIコマンドを覚えていなくても、変更を実行するアクションを起こします。



図5: ユーザーのインテントを理解するMarvisの対話型インターフェイス

Marvis NLPは、IT部門と支社/拠点ネットワークのやり取りを一変させます。

AIドリブンSD-WAN

Juniper SD-Branchの重要なコンポーネントであるジュニパーの**Mist AIドリブンSD-WAN**ソリューション(図6)には、アーキテクチャの一部としてセキュリティ機能が組み込まれています。

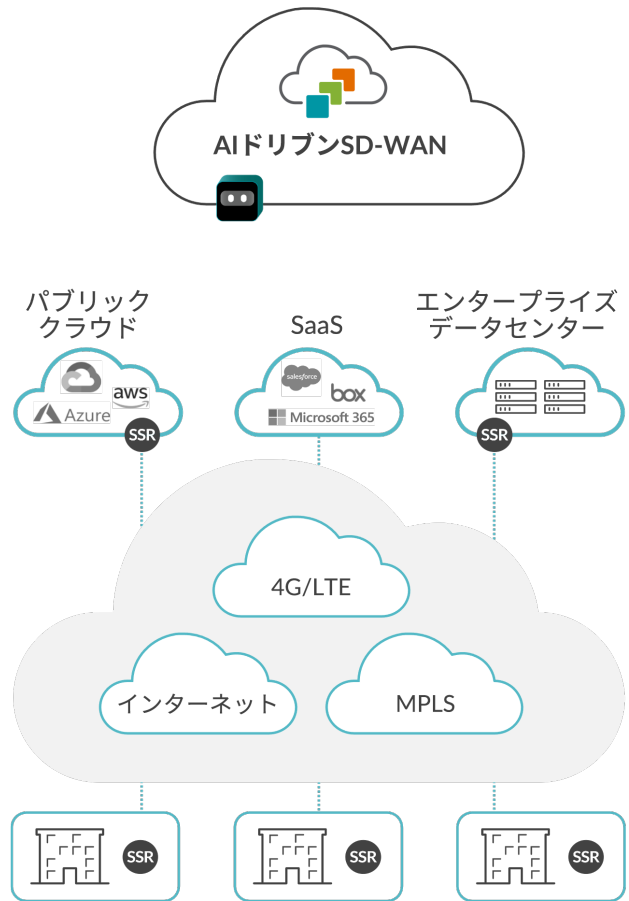


図6: あらゆる種類のビジネスをサポートするAIドリブンSD-WANを備えたSD-Branch

サービスをベースとしたルーティングにより、統一ポリシーに従って、アイデンティティと関係性に基づいてセッションを配信できます。これにより、クラウドを中心とする最新のデジタル企業は、ユーザーとデバイスに対し、その場所に関わらず安全なアクセスを提供することができます。

Juniper SD-Branchは、あらゆる規模の支社/拠点、大規模なキャンパスやデータセンター環境をサポートします。あらゆる共通WANやインターネットリンクから、パブリッククラウドアプリケーションやSaaSアプリケーションにアクセス可能です。

Juniper SD-WANには**Mist AI**(AIベースのインサイトと解決用)とジュニパー**セッションスマートルーティング**が搭載されており、後者はアプリケーション層の制御を提供することで、重要アプリケーションがセッションポリシーとネットワーク状態に基づき、優先的待遇と稼働時間の保証を受けることができます。

セッションスマートルーティングファブリックは、ユーザーセッション、サービス、アプリケーション、その他の動的なワークロードの完

全なエンドツーエンドのコンテキスト(状態)を維持し、応答性の高いアプリケーション認識型ネットワークを実現します。このソリューションは数万サイトまで拡張可能です。トンネルフリーのアーキテクチャにより、帯域幅コストを30~50%削減できます。

Juniper SD-WANはセッション層でトラフィックを管理するため、(点在しているためデバイスが予測不可能な)アプリケーションとユーザーをすべて正しくマッピングできます。このアプリケーション、サーバー、顧客に対する「基本的に拒否する」アプローチにより、SD-WANファブリックにゼロトラストセキュリティが実装されます。

パフォーマンスは独自のSVR(セキュアなベクトルルーティング)プロトコルで最適化されているため、不要な二重暗号化やオーバーヘッドによってユーザーエクスペリエンスが犠牲になることはありません。SVRは、セッションやアプリケーションデータを収集、分析し、それに対応する機能を提供します。

Mist AIドリブンのJuniper SD-WANは、ITドメイン全体において問題の根本的原因を特定し、自動的に修復またはアクションを推奨するSelf-Driving Networkです。このソリューションは、きめ細かいQoS(サービス品質)、1秒未満のフェイルオーバー、ロスレスアプリケーション配信を実現します。

ドメインをまたがるセキュリティ

Juniper SD-WANには、ネットワーク内の各ルーターから数々のセキュリティサービスを提供する機能が組み込まれています。支社/拠点セキュリティパックには、IDS/IPS(侵入検出および防止システム)とURLフィルタリング機能が含まれています(図7)。

Juniper SD-WANのセキュリティ面における重要なメリットは、セッションアクセスを基本的に拒否するアプローチで、ゼロトラスト環境を提供します。その他にも、以下の数多くのセキュリティ機能が搭載されています。

- Juniper SD-WANには、コーポレートネットワークファイアウォール機能が組み込まれており、ポリシーベースのポリシーングとフォワーディングを実現します。企業は各トラフィックフローに応じて、差別化されたさまざまなセキュリティやサービスを提供できます。
- セッションスマートルーターは、あらゆるパケットフローの暗号化/復号化と認証ができます。また、暗号化されたセッションを動的に検知する適応型暗号化をサポートし、二重暗号化を防ぎます。
- 管理者は有効なセッションに対するポリシーを明示的に定義する必要があります。セッションに1つもポリシーが関連付けられていない場合、そのセッションはドロップされます。
- より強力なSSE(セキュアサービスエッジ)機能が必要な場合、ジュニパーはJuniper Secure Edgeの統合セキュリティ管理でこれらの機能を提供し、クラス最高のセキュリティソリューションを実現します。
- さらに、セッションスマートルーターの充実したアプリケーション認識機能により、必要に応じて他のサードパーティセキュリティプロバイダへのルーティングが必要なセッションを特定できます。

SSRセキュリティ

- ✓ 基本的に拒否、ゼロトラストモデル
- ✓ 適応型暗号化
- ✓ ルート指向性、ポリシー適用
- ✓ Layer 3/Layer 4 DOS/DDOS
- ✓ FIPS 140-2認定
- ✓ きめ細かなセグメンテーション
- ✓ 一元的ポリシー管理



セッションスマートルーター 支社/拠点セキュリティパック

- ✓ IPS/IDS
- ✓ URL Webフィルタリング



図7:ゼロトラストを適用したセキュアなSD-WAN

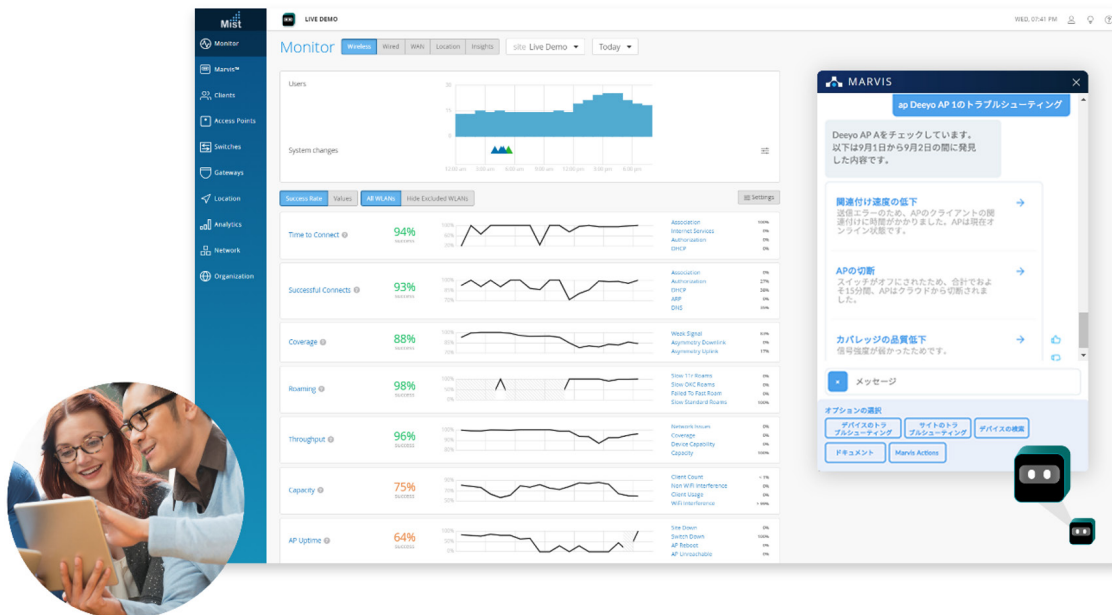


図8: Mist AIとMarvisによる無線パフォーマンスの最適化

無線におけるリーダーシップ

SD-Branchの無線ドメイン向けに、ジュニパーはすべてのビジネス拠点で信頼性の高い安定したWi-Fiアクセスを提供します。ジュニパーのハイパフォーマンスアクセスポイントシリーズを使用することで、オペレーターは、ネットワーク全体を一貫して網羅する広範囲で信頼性の高いWi-Fi接続を設定できます。TCOの観点から、これにより顧客に最大限の価値を提供できます。

Mist AIで管理する無線ネットワーク (図8) は、無線パフォーマンスを事前に最適化します。

Juniper Mist Cloudにより、支社/拠点全体のメンテナンスとトラブルシューティングが大幅に簡略化されます。ファームウェアとセキュリティ機能の定期アップデートを集中管理コンソールから全拠点にプッシュでき、これにより多くの一般的な問題のトラブルシューティングをリモートで実行できます。

ジュニパーアクセスポイントは、最高の802.11ax (Wi-Fi 6) および802.11acのWi-Fiレンジとパフォーマンスを提供するだけでなく、特許取得済みのダイナミックvBLE16エレメントアンテナアレイを搭載し、業界最高の精度と拡張性を持つ屋内位置情報サービスを提供します (図9)。これらのパーソナライズされたサービスは、小売、教育、ヘルスケア、ホスピタリティ、政府、製造など、さまざまな業界における支社/拠点の変革を大きく加速させます。

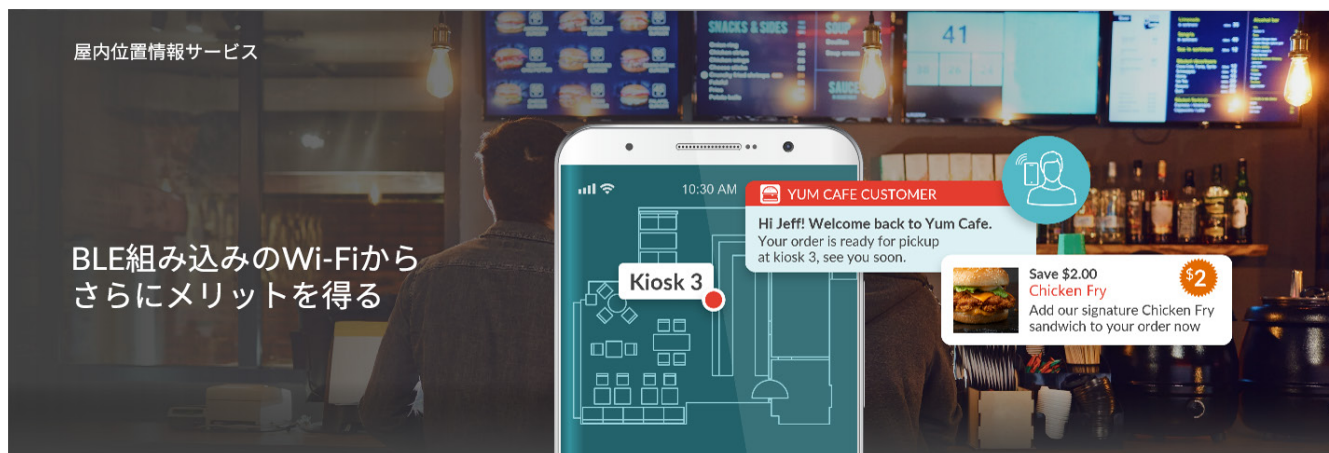


図9: 屋内位置情報サービス

支社/拠点全体の運用を最適化するための重要なデータポイントを提供する拠点データから、企業はビジターの重要なインサイトを取得できます。企業の役員がより的確にトラフィックパターンを把握し、訪問状況を監視できるため、需要に応じて最適な人員を配置できます。Juniper Mistユーザーエンゲージメントは、こうしたサービスの精度と俊敏性を高めるテクノロジーを提供します。

必要に応じて、ユーザーの位置情報を基に、セキュリティカメラなどのIoTデバイスを起動させることもできます。Juniper Mist IoT Assuranceは、MPSK(複数の事前共有キー)とPPSK(プライベートの事前共有キー)を使用して、IoTとBYODのアクセスコントロール機能一式を提供します。

Juniper Mist SDK(ソフトウェア開発キット)を使用することにより、企業やサービスプロバイダは、モバイルエンゲージメントの向上、ブランドロイヤリティの構築、運用の改善を実現するアプリケーションエクスペリエンスを作ることができます。

有線におけるリーダーシップ

有線ドメインの場合、Juniper SD-Branchは、業界屈指のソリューションでクラス最高の接続性を提供します。ジュニパーの有線ソリューションは物理的なコントローラを必要としないため、オンプレミスの物理インフラストラクチャが最小限で済みます。

ジュニパーのお客様からは、競合ソリューションの半分程度の物理的スペースで済み、それに伴って消費電力も削減できたという評価を頂戴しています。また、企業は物理的なコントローラを持つ負担がないため、ネットワークの運用と管理にSaaS型ライセンスモデルを利用することもできます。

ジュニパーの無線ポートフォリオと同様、ジュニパーの有線ポートフォリオも合理化されたキャンパスへの導入が可能です。Juniper SD-Branchを導入すると、トラブルシューティングが簡略化されます。VLANの誤設定やケーブルの不良など発見が困難な問題でも、Juniper Mist Wired Assuranceを使用してオペレーターがすばやく特定し、トラブルシューティングできます。

Day 0, Day 1, Day 2オペレーション

すべてのDay 0, Day 1, Day 2オペレーションの導入とプロビジョニングが、シンプルでセキュアです。アクセスポイント、スイッチ、セッションスマートルーターなどの構成済みデバイスがエンドユーザーの元に配送され、「プラグアンドプレイ」方式でわずか数分でセットアップが完了します。

ユーザーはデバイスの請求コードを読み取るだけで、事前定義された設定が即座に適用されます。その後、テンプレートを使って追加のポリシーを適用し、Juniper Mistポータルからリモートでアップデートを提供することも可能です。

デバイスタイプの事前設定、ポート検出、ダイナミック構成により、真のゼロタッチプロビジョニング(ZTP)オペレーションが実現します。さらに、アクセスポイントについては、導入サービスを使用して配置と方向を自動設定できます。

こうしたアプローチにより、多くの(何千もの)サイトに拡張し、問題を事前に防ぐことができるため、卓越したエンドユーザーエクスペリエンスを確実に提供できます。管理者は新しいサイトやアプリケーションの設定、変更をすばやく簡単に、かつ正確に行うことができます。

これらのオペレーションについて、詳しくは『Implementing Branch Networks for AI-Driven Enterprise Customers』(英語)をご覧ください。

業界アナリストの見解

Juniper (SD-Branch) は、2年連続でGartner®有線および無線LANアクセスインフラ部門のMagic Quadrant™でリーダーの1社として評価を得ています。Gartnerはジュニパーを「ビジョンの完全性」と「実行能力」を最上位と評価しました(*1)(図10)。



図10:有線および無線部門でリーダーとしての評価を得ている Juniper SD-Branch (出典:Gartner)

ジュニパーはGartner 2022 屋内位置情報サービス部門のMagic Quadrantでもリーダーの1社として評価されました>(*2) 両カテゴリーでリーダーに評価された企業は他にありません。分散型企業は、1つのソリューションで業界屈指のソリューションを2つ得られることとなります。

ジュニパーは有線および無線LANアクセスインフラ部門と屋内ロケーションサービス部門のMagic Quadrantでリーダーの1社としての評価を得たほか、SDWAN部門のMagic Quadrantでもビジョナリーに評価されています>(*3) ポートフォリオ全体の観点で見ると、どのネットワークベンダーよりも強力なソリューションを備えているとジュニパーは考えます。

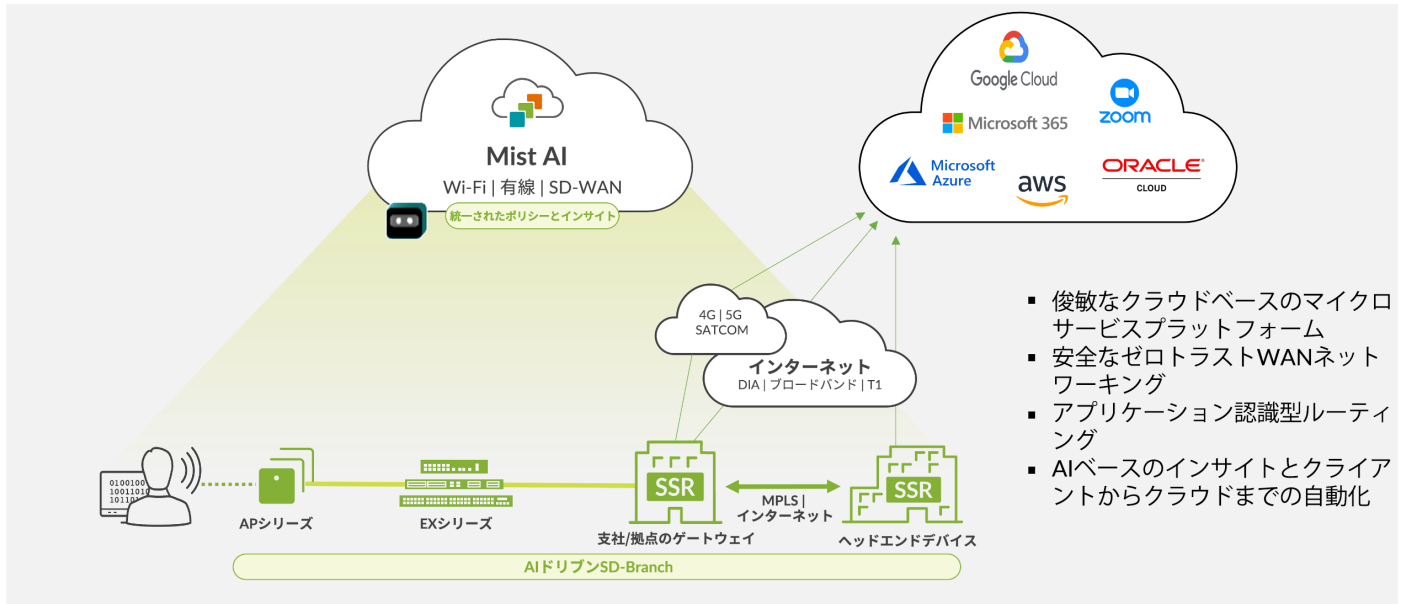


図11: 概要レベルのJuniper SD-Branchアーキテクチャの図

SD-Branchの導入と展望

SD-Branchの導入は年々増加しています。それに大きく貢献しているのが、業界で最も高度なAIOpsを提供するMist AIドリブンのジュニパーです。ジュニパーは他のネットワークプロバイダより一歩先を行っています。

Mist AIは、分散型企業におけるフルスタックの支社/拠点と全ドメインとの接続を促進します。これには、支社/拠点、本社、データセンター、パブリッククラウド、プライベートクラウドなど、すべての拠点におけるセッションスマートルーターノードも含まれます。Juniper SD-Branchソリューションには、冗長性やロードバランシング用に複数のWANリンクが含まれます。

Mist AIとJuniper SD-WANは、分散型企業におけるすべての拠点、クラウド、ユーザー、デバイスを対象に共有ポリシーとAIベースのインサイトを作成、適用します。Juniper SD-WANのアプリケーション認識型ルーティングは、基本的にすべてを拒否するゼロトラストセキュリティを採用しており、トンネルフリーで帯域幅を最適化します。暗号化されていないトラフィックはすべて、適応的に暗号化されます。

ブラウンフィールドやWANのみの導入の場合や、特定のネットワーク機能に顧客固有の機能が必要な場合、Juniper SD-WANは、他のスイッチングソリューションや無線ソリューション、サードパーティSSEソリューションを使用した運用に関してベンダーに依存しません。

AIドリブンネットワークを活用するAmeriTrust

特殊保険の引受業務と管理サービスを提供する企業であるAmeriTrustは、成長を促進するためにデジタル変革を目指していました。同社は、ITオペレーションを合理化し、サイバーセキュリティを強化し、予測不可能な変化する世界でビジネスの成功を促進するための意欲的な取り組みに着手しました。

この取り組みの一環として、AmeriTrustは、オフィス、データセンター、エンタープライズWANの俊敏性を高めるために、Juniper SD-Branchソリューションを選択しました。このフルスタックソリューションは有線、無線、広域ネットワークを網羅しています。

Juniper SD-Branchの導入により、AmeriTrustは、AIOpsを活用してより迅速な対応とより適切な意思決定ができるようになりました。Juniper SD-Branchのゼロトラストアクセス制御とセグメンテーションを利用することで、AmeriTrustは最適化されたセキュアなユーザーエクスペリエンスを提供しています。

ジュニパーのMist AIドリブン有線および無線アクセスソリューションが、AmeriTrustのオフィスにおいて、予測可能で信頼性が高く、測定可能な接続性を提供しています。Juniper Mist Wired Assurance、Juniper Mist Wired Assurance、仮想ネットワークアシスタント「Marvis」を含むジュニパーのクラウドサービスは、ユーザーエクスペリエンスを明確に可視化し、問題発生時のトラブルシューティングを迅速化します。

Juniper SD-Branchソリューションを導入したAmeriTrustの事例について、詳しくは「[AmeriTrustの導入事例](#)」をご覧ください。

トップ10に入るクイックサービスレストランフランチャイズ加盟店で顧客のダイニングエクスペリエンスが向上

米国でトップ10に入るQSR(クイックサービスレストラン)フランチャイズ加盟店は、フルスタックネットワークでJuniper SD-Branchを導入した結果、店内のエクスペリエンスが向上しました。いくつかの店舗では、POSの頻繁なダウンタイム、ゲスト用Wi-Fiの信頼性の低さ、設定の複雑さに悩まされ、顧客の落胆や従業員の不満、経済的損失を招いていました。

今では、このフランチャイズ加盟店がサポートするレストランではDay 0とDay 1のオペレーションが大幅にスピードアップしました。最終的には有線、無線、WANエクスペリエンスのサービスレベルに関するインサイトをリアルタイムで取得できるようになり、ビジネス関係を継続できました。このQSRフランチャイズ加盟店はiOSアプリと写真オプションでスムーズなインフラ導入を実現しました。

ジュニパーのアクセスポイント、EX2300イーサネットスイッチ、Juniper Mist Wired Assurance、セッションスマートルーターを300軒の店舗に導入し、迅速なトラブルシューティングのためにMarvisを実装した結果、即座に全店舗でカスタマーエクスペリエンスが向上しました。

このQSRフランチャイズ加盟店は、Juniper SD-Branchの導入により、必要な帯域幅が減少して大幅なコスト削減を達成し、またMist AIの機能によってヒューマンエラーの発生が減少しました。今ではサービスの提供が大幅にスピードアップして待ち行列が短くなり、レストランの全般的なエクスペリエンスが向上し、収益化までの期間も短縮されました。

医療品の多国籍企業がアプリのパフォーマンス向上とコスト削減を達成

獣医用製品とデンタル製品を主軸とする、ある医療品の多国籍企業は、オペレーションの簡略化とアプリケーションのパフォーマンス向上を求めています。また、物理的なネットワークインフラの効率化も求めています。

同社は競合4社のソリューションを総合的に評価し、Juniper Mist Cloudで管理するジュニパーセッションスマートルーティングとJuniper Mist WAN Assuranceを含む、Juniper SD-Branchを選択しました。

その結果、多数の支社/拠点にテンプレートベースで簡単に導入でき、AI Opsにより運用が簡略化されました。Juniper SD-Branchにより、同社はアプリケーションのパフォーマンス向上と帯域幅の大幅な削減に成功しました。

概要

Juniper SD-Branchは、AIドリブンのインサイトを提供し、各支社/拠点サイトを最適化し、従業員、顧客、オペレーターに最高のエクスペリエンスを提供します。これには、モバイルトラフィックの最適化、注文やPOS業務の効率化も含まれます。

ジュニパーは有線、無線、SD-WANのリーディングベンダーで、業界で最も簡単に包括的なDay 0、Day 1、Day 2オペレーションを実現します。また、ユーザーエンゲージメントの向上とアセットの可視化を促進する屋内ロケーションサービスでも業界をリードしています。

次のステップ

SD-Branchの導入開始や継続利用に関する詳細やサポートについては、ジュニパーのアカウント担当者にお問い合わせください。

manage.mist.comでアカウントを作成してチュートリアルに従い、さまざまなSD-Branchタスクを実際にご体験いただくことも可能です。開始方法については、アカウント担当者にお問い合わせください。

リソース

ソリューションブリーフとホワイトペーパー

- [『Client to Cloud Assurance with an AI-Driven Enterprise』](#) (英語)
- [『Implementing Branch Networks for AI-Driven Enterprise Customers』](#) (英語)
- [『Session Smart Routing: How it Works』](#) (英語)
- [『Using the AI-Driven Enterprise in Quick Service Restaurants』](#) (英語)

アナリストの評価

- [2022年度Gartner Magic Quadrant for Enterprise Wired and Wireless LAN Infrastructure](#)
- [2022年度Gartner Magic Quadrant for Indoor Location Services](#)

ビデオ

- [AI-driven SD-WAN in Action: Design, Deploy, and Operate a Full Stack Branch with Mist AI](#) (英語)
- [AI-driven SD-WAN Demo: WAN Assurance](#) (英語)
- [AI-Driven Enterprise in Action - MSP Dashboard Demo](#) (英語)
- [Juniper AI-driven Enterprise: Full Stack AI Ops](#) (英語)
- [Marvisのご紹介](#) (英語)

デモ

- [AI-Driven Enterprise](#) (英語)

出典:

*1:Gartner, Magic Quadrant for Enterprise Wired and Wireless LAN Infrastructure, Mike Toussaint et al., 21 December 2022

*2:Gartner, Magic Quadrant for Indoor Location Services, Tim Zimmerman et al., 23 February 2022

*3:Gartner, Magic Quadrant for SD-WAN, Jonathan Forest et al., 12 September 2022

Gartnerは、Gartnerリサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するようにテクノロジーユーザーに助言するものではありません。Gartnerリサーチの発行物は、Gartnerリサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。Gartnerは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の責任を負うものではありません。GARTNERおよびMAGIC QUADRANTは、Gartner Inc.または関連会社の米国およびその他の国における登録商標およびサービスマークであり、同社の許可に基づいて使用しています。All rights reserved.

JUNIPER
NETWORKS

Driven by
Experience™

アジアパシフィック、ヨーロッパ、
中東、アフリカ
Juniper Networks International B.V.
Boeing Avenue 240
1119 PZ Schiphol-Rijk
Amsterdam, The Netherlands
電話番号: +31.207.125.700
FAX: +31.207.125.701

米国本社
Juniper Networks, Inc.
1133 Innovation Way
Sunnyvale, CA 94089 USA
電話番号: 888.JUNIPER (888.586.4737)
または +1.408.745.2000 | Fax: +1.408.745.2100
www.juniper.net

日本
ジュニパーネットワークス株式会社
東京本社
〒163-1445 東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティタワー45階
電話番号: 03-5333-7400
FAX: 03-5333-7401
西日本事務所
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-2-2
ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階
https://www.juniper.net/jp/jp/

Copyright 2022 Juniper Networks, Inc. All rights reserved. Juniper Networks、Juniper Networksロゴ、Juniper、Junosおよびその他の商標は、米国およびその他の国におけるJuniper Networks, Inc.およびその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。ジュニパーネットワークスは、本資料の記載内容に誤りがあった場合、一切責任を負いません。ジュニパーネットワークスは、本発行物を予告なく変更、修正、転載、または改訂する権利を有します。